

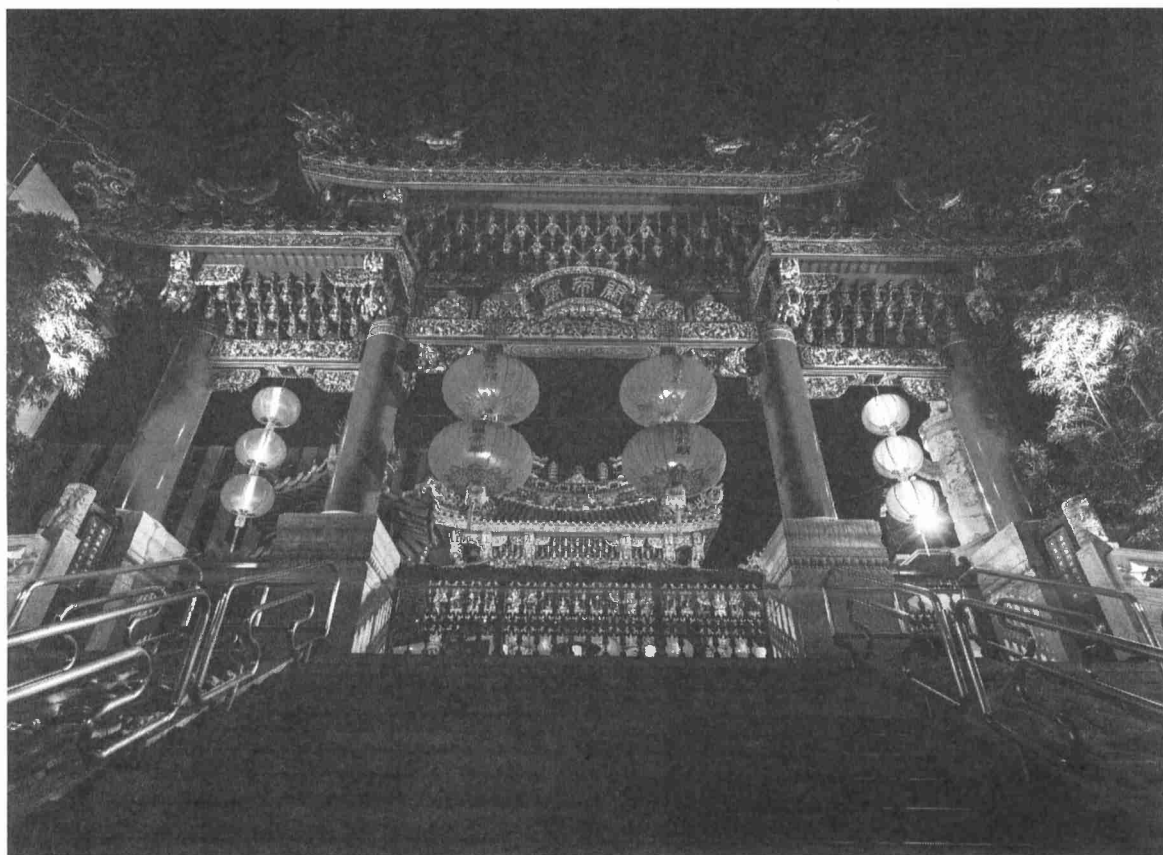
ぜん きょう じ
善巧寺報

2 月号



月刊●善巧寺報

〒344-0032 埼玉県春日部市備後東4丁目1番17号
TEL 048(734)7660 榎本明覚



中国の民間信仰（関帝廟）横浜中華街

▼二〇一三年二月一日▲

東京教区の食材

～ 中華街～

定例法座

毎 月 十 一 日

◎二月十一日(土)午後二時

～三時半

於 善巧寺 法輪会館

「いつでも、どこでも、

だれにでも」

南無阿弥陀仏の「阿弥陀」の意味は、アは否定を意味し、ミタは「量る」「量られたもの」を意味します、つまり、「アミダ」とは量ることができない事を意味します。ゆえに阿弥陀仏は無量寿仏、無量光仏と漢訳されま

未だ束縛され続けているこの私たちに慈悲として働くと言われます。そうした慈悲という観点からすれば、阿弥陀仏の慈悲は量り知れない慈悲であると言うことになり、それは「いつでも、どこでも、だれにでも」絶え間なく注がれていると味わえることとでしょう。さらに、仏の慈悲の対象である私からすれば「今、ここにいる、この私に」計り知れない仏さまのお慈悲が注がれている、と受け取ることが出来るでしょう。

親鸞聖人の言行録である『歎異抄』に「弥陀の五劫思惟の願をよくよく案ずれば、ひとえに親鸞一人がためなりけり」とあるのは、阿弥陀仏の徳、はかりしれない徳が、私を場として働いている事を表しているのです。「いかに煩惱深くとも、いかに

仏の智慧からはほど遠い者であろうとも、必ず極楽浄土に往生させる。平等、安穩な心に安住させ、心穏やかなるが故に大いなる慈悲を存分に發揮できる仏と成す。」阿弥陀仏はその名の通り、無量の大慈悲をもって私たちを真の安心に導くため呼びかけ続けているのです。



冬はつとめて

みほとけ会月例会

★ ZOOM ミーティング ★

みほとけ会では感染対策のため引き続き、ZOOMを用いたインターネット法話座談会を開催中です。

開催日時は、

毎月第一木曜日、第三木曜日

午後八時〜

参加ご希望の方は、

jetfidget@gmail.com

まで、メール送信下さい。開催当日夕方に招待メールを返信いたしました「お笑いに見る人間の真実性」として動画を視聴し感想を言いあいながら、仏さまの慈悲を味わうという斬新な試みを企て中。前回はマツコ・デラックスさんも絶賛の友達近さんによるものまね動画を題材にさせて頂きました。お気楽にどうぞ。

◆◆春日部だより◆◆

◎大寒波。関東平野部でも積雪になる恐れと言う事で久しぶりの雪かき準備をしていました。が、結局空振りに。本願寺札幌別院や長野別院に勤務していた時、冬の雪かきは日課のようなものでしたので、当時培った雪かき技術が鈍ってしまったのかも、とちょっと心配。いや積もらないに越したことはないのですが。

◎新型コロナウイルス感染対策について。政府は「コロナ禍以前の日常に戻す方針(マスクを外し飛沫拡散させてもOK)ですが、ウイルスが弱毒化したという科学的論拠は未だ見られませんが。」高齢の方と接触機会が多いお寺では今まで通りマスク着用、換気、手洗い手指消毒といった感染対策を継続してまいります。どうかご理解賜りますようお願い申し上げます。



○東大寺勸進所

「五劫思惟阿弥陀如来坐像」

仏像ファンには「アフロ阿弥陀」と呼ばれる髪型が特徴的な阿弥陀如来坐像。五劫という長い長い間(一説だと一劫は四億三千万年)、私たちが日々作りと作るいかり・そねみ・ねたみ・無恥・高慢といった悪業煩惱を滅し尽くし、皆等しく穏やかな極楽浄土に参らせる方法を思案していたため、散髪する暇無くこのようなヘアースタイルになっちゃった、という姿を表現しています。鎌倉時代中期造と推定されます。重文。